

2018年を最後に休止していた「川端康成（かわばた・やすなり）文学賞」について、

主催者の川端康成記念会は

きょう（1日）、今年から

再開すると発表しました。

来月（4月）13日に

受賞者を公表するということです。

短編小説が対象の川端賞は、

1974年に第1回の受賞者が

発表され、

開高健（かいこう・たけし）や

三浦哲郎（みうら・てつお）らが

受賞してきました。

おとし（2019年）からの休止は

記念会の事業基金の減少や、

審査委員長で

今年2月に亡くなった

記念会の川端香男里

（かわばた・かおり）前理事長の

体調不良が理由でした。

今後は、委員制だった予備選考を、

後援する新潮社

（しんちようしゃ）が行い、

選考会場の見直しで

運営費を削減するということです。